

## はじめに

---

平成17年に所沢市青少年問題協議会から提言された「青少年を健やかに育むために」—今・私たちが出来ること—は、当時の委員さん方が、3年もの月日をかけ 築き上げた、とても素晴らしいものとして今も継がれています。

いわゆる、この「三つ葉の提言」は、家庭そして地域、学校がその連携を深め、子どもたちが夢と希望に満ちて、成長していけるような環境をつくることを目的として誕生しましたが、月日の流れは早いもので、提言から10年がたちました。

この度、社会情勢の変化等により見直しが必要ではないかとの意見があり、初版の三つ葉の提言を十分に尊重しつつ、現代版とする改定をさせていただきました。

学校は、勉強をする場所であるだけでなく、子どもたちが一日の大半を過ごす大切な生活の場でもあります。私たちは、地域の大人として、学校と積極的に関わり、学校が子どもたちにとってより良い場所となるよう先生方を応援していきます。

地域での活動・行事は、子どもたちにとって学校とは違う社会での交流を体験する有意義な機会となります。大人同士の交流の場、近所づきあいが少なくなつて久しいと言われますが、親子で地域のイベントに参加することで、同じような子を持つ方や、それまで知らなかった地域の方々と知り合えるかもしれません。そうした交流を経て、地域の絆が生まれ、子どもたちを見守り、育てていく地域社会が作られていくのでありましょう。

でも、子どもたちにとって何より重要な場所は家庭であります。家庭の温かみ・家族の絆が子どもたちを健やかに育む基盤となります。お父さん、お母さん、もう一度家庭のあり方を見つめなおしましょう。

そして、私たち地域の大人は、子どもたちが健やかに、たくましく育っていくために、地域内の家庭・家族をあたたく包み、支え、何よりも大切な絆を紡いでまいりましょう。

平成29年1月31日

所沢市長

所沢市青少年問題協議会会長

藤 本 正 人